

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		街並み環境整備					所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	166	計画事業名	街並み環境整備			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 36 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進					[事業開始] 平成15年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱					
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要綱に定める商店街名簿に登録された商店街 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助することにより、商業環境整備を促進し、商店街の活性化を図る。									
	事業内容 [H30年度]	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助する。 補助率: 1/2 (東京都の補助対象となった場合は区と都を合わせて2/3以内) 限度額: 任意団体1,000万円 法人5,000万円 (区・都それぞれの限度額)									
	委託の有無	なし	委託内容			なし					
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	助成件数	件	6	7	4	4	6	66.7%		
	成果指標										
	決算額 (単位: 千円)				H28年度	H29年度	H30年度				
					61,653	63,286	5,189				
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				3,121	4,609	2,645			
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				201	188	232			
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				61,453	63,099	4,957			
		総経費				64,775	67,896	7,834			
財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0				
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				29,663	29,167	1,207				
	一般財源 (区負担額)				35,112	38,729	6,627				
課題及び今後の進め方	商店街の環境整備にかかる事業であるため、規模の大きな事業が多く、事業実施前には関係機関との調整も綿密に進める必要がある。円滑に事業実施ができるよう今後とも指導・助言を積極的に行っていく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	商店街が主体的に行う環境整備事業に対し行政が必要な支援を行うことは、地域経済の中心である商店街の活性化を図るうえで必須である。老朽化したアーケードや街路灯等を改修し、より明るく活気のある環境を整備したいという要望・相談は毎年あるので、今後も継続的な支援が必要である。								
	効率性	3	計画性・必要性・課題認識に関するヒアリングの実施や、現地調査・指導・助言を行うことで、事業の効率化を図っている。								
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店街に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っている。								
目的達成度	3	商店街からの申請に基づき助成を実施しており、平成30年度の申請件数は4件であった。引き続き事業の目的・内容の周知を行うとともに、適切な事業実施に向けた指導・助言を行っていく。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
地域経済の活性化を図るため、商店街設備の整備や、老朽設備の補修は不可欠である。商店街が必要な商業環境整備を行えるよう、引き続き東京都と連携しながら事業を維持していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			